

能美市議会議員 田中 策次郎

絆 ぎずな ~能美市政報告~



南山 修一 議長

第12代 能美市議会 副議長に(1p)

3月議会 一般質問 (2p~3p)

- 2018日本女性会議 in 金沢への関わり方について問う
- 男女共同参画推進の新しい取り組みと期待される成果を問う
- 男女共同参画推進に取り組む市内企業支援を問う
- 市内の医療的ケア児の現状を問う
- 医療的ケア児への今後の支援について問う
- 手取川・梯川の連動した河川氾濫の災害想定を問う
- いじめ虐待防止について来年度の学校での新施策を問う

● 1月16日に臨時議会が開催 田中策次郎が副議長に選出されました

1月16日、第1回能美市議会臨時議会が開催され、正副議長の選挙が行われました。第15代議長 南山 修一(4期) 第12代副議長 田中 策次郎が選出されました。



● 会派「大志」を結成

1月16日に、開道 昌信・田中 策次郎・森 善克・田中 大佐久 山本 悟・北村 周士・卯野 修三・山下 毅の8名が 森 善克 議員を代表として会派「大志」を結成しました。

- 現在の役職など
- 3期目 会派「大志」(現会長 田中大佐久 議員)
- 予算決算常任委員会(委員長)
 - 産業経済常任委員会(副委員長)
 - 議会基本条例等検証特別委員会(委員長)
 - 広報特別委員会

● 故 森 善克 議員に哀悼の誠を捧げます

平成30年1月28日に森善克議員が急逝されました。志を一つに我々と立ち上げた会派「大志」の代表として皆が頼り、活躍を期待していました。残された私達は森善克議員の遺志をしっかりと引き継ぎ、市民の幸せのために力を尽くすことが森善克議員の御功績に報いることと思ひ、今後も議員活動に励む事をお誓い申しあげ、ここに心から哀悼の意を捧げます。



37年ぶりの豪雪災害

今冬は記録的な豪雪に見舞われ、共助の地域の力が試されました。災害時には地域の連携協力が非常に大切で、地域力の強い町会ではご近所が助け合い、近隣の除雪や高齢者宅の安否確認と買物支援を行っていました。地域力を育て、福祉・災害に強いまちづくりを進めたいです。



3月18日にボウリング大会が開催されました☆ 楽しい会を いつもありがとうございます



1/6 消防団出初式

1/7 成人式

1/11 三道山町市政勉強会

1/21 能美市赤十字奉仕団新年会

1/27 三道山町女性会新年会

2/3 女性視点の地域防災講座

2/3 シェレホフ協会 新年のつどい

2/4 防災ネットワーク 春まち研修会

2/12 春まち 子ども食堂報告

2/14 県市議会議長会

2/18 学びフェスタ「防災士会 ポリ袋調理」

2/19 小学校福祉体験授業

2/22 能美市PTA 連合会と議会の意見交換

2/23 福祉ボランティア「げんきかい」新年会

3/4 NPO 法人えんがわ総会

3/4 寺井校下壮年団総会

3/5 粟生校下町会長会懇親会

3/9 寺井ボランティア連絡会 交流会

3/11 東日本大震災募金

3/11 大成町老人会 防災講演

3/21 市九谷焼資料館リニューアル

3/25 能美市公式キャラクター披露

3/25 能美根上インター開通式

3/28 子ども食堂 講演会

●「日本女性会議2018 in 金沢」への関わり方について問う

今年の10月12日から14日にかけて日本女性会議 2018 in 金沢が行われます。大会テーマは「ただえようこれまでの道 彩ろう未知なる明日」と決まりました。これまで日本女性会議は開催する市がメインに運営され、今回も金沢市が中心で行われます。昨年11月のイベントで山野金沢市長は「この大会を金沢市だけではなく、加賀から能登までのオール石川で大会を行いたい」と発信しています。

この男女共同参画社会推進を学ぶ貴重な大会に、市はどのように関わっていくのか

答 西村 泰知 企画振興部長

県内での開催を男女共同参画社会のさらなる前進、男女平等の社会を考える絶好の機会として捉え、**広く市民に対し広報誌などを活用し積極的に周知し参加を促したい。**特色ある先進的な取り組みが紹介され、新しい視点での考え方を学べる機会と考え、**推進委員と共に行政も参加し、委員と行政が同じ方向で市民の男女共同参画社会への関心を高める工夫を考えたい。**



●新年度の男女共同参画推進の新しい取り組みと期待される成果を問う

昨年11月に能美市男女共同参画フォーラムが開催され多くの市民の皆様に参加戴きました。フォーラムでは講演に加え、寺井高校生による学習発表と、市男女共同参画推進委員と参加者によるワークショップも行われました。本年度は男女共同参画推進の大きな発信が出来たのではないかと思います。しかし課題も多くあり、男女共同参画の言葉を多くの機会に耳にしても、その内容や取り組みの必要性までは多くの市民には伝わっていないのが現状です。

今後は、これまでの情報発信に加え成果を伴う取り組みが必要と考える。

答 井出 敏朗 市長

男女共同参画の言葉だけを耳にすると難しく捉えがちだが「**男女がお互いの人権を尊重しつつ、その個性と能力を発揮することができる社会を一緒に作り上げていきましょう**」と呼びかけたい。寺井高校生との共同学習会も継続し、**また新年度の取組みとして6月の男女共同参画推進週間にあわせてイベントを開催する。**第2次能美市男女共同参画推進プラン策定に向けてアンケートを実施し、その調査結果を分析検証して**成果が得られる施策を立案していく。**



●男女共同参画推進に取り組む市内企業の支援ができないか

女性の採用・職域の拡大や女性管理職の増加など男女共同参画の推進に取り組んだ企業の効果として「**女性従業員の労働意欲が高まった**」「**職場が活性化された**」「**良い人材を採用しやすくなった**」「**生産性の向上や競争力の強化につながった**」と石川県の取組み企業の実態調査の結果も出ています。

能美市の企業で働く男性も女性も個性と能力を十分に発揮することができれば、働きやすい能美市の企業に多くの若者が働き移り住む事になるとも考える。働く市民のためにも、企業のためにもなるような施策を打ち出せないか

男女共同参画推進に取り組む市内企業を市が情報発信し人手不足の解消の支援等を行えないか。

答 西村 泰知 企画振興部長

市は女性技術者を雇用している事業者、また次世代育成支援対策推進法に基づき仕事と子育てのための行動計画を策定し厚生労働大臣に届けている事業者に対し**建設工事に係る入札参加資格事業者の格付けに際し加点対象とし、女性の社会進出を後押ししている。**今後、**市として家庭と仕事を両立させるワークライフバランスに積極的に取り組む企業名やその取り組みの発信を検討する。**情報発信によって他の企業への刺激になり女性・男性や会社などにも意識改革となりさらなる女性の就業率向上や人手不足の解消につながると考えている。

●医療的ケア児の現状は

生活する中で”医療的ケア”を必要とする子どものことを、「医療的ケア児」と呼んでいます。先天的な病気や障害を持って生まれ、人工呼吸器や経管栄養など医療的なケアを必要とする「医療的ケア児」。適切なケアが受けられれば地域で普通に暮らしていけるのに、保育の受け入れ先がなく、親が仕事を辞めて付きっきりで世話をしなくてはならないという問題が生じています。**「医療的ケア児」は年々増えているのに、法律の整備や支援が全国的にも追いついていないのが現状です。**市内の医療的ケア児の現状はどのようなものか

答 勝山 與四久 健康福祉部長

市で在宅で医療的ケアが必要な子どもは平成29年9月時点で5名と把握している。医療的ケア児の実態の把握と、ご家族からの生活について話を聞き、課題の整理と解決に向けた方策について協議を続けている。また、医療的ケア児を含めた障がいのある子どもを育てる家族の思いを市民に向けて発信する機会を設けている。

家族の身体的・精神的・経済的負担を軽減する取り組みが必要と考えている。



●医療的ケア児への今後の支援について

医療的ケア児を育てているお母さん達は付きっきりで世話をする場合が多く、就労が難しく金銭的にも苦労があるとの事です。市内に医療的ケア児を受け入れる事業所は無く、また在宅介護などで介護者が日々の介護に疲れを感じ、一時的に在宅介護が困難になった場合に病院に一時的に移すレスパイト(介護休暇目的)入院の施設もありません。

今後、医療的ケア児に市としてどのような支援を行っていくのか

答 井出 敏朗 市長

まずは経済的負担の軽減を目的とし医療的ケア児を育てる世帯に対し子どもが障害者年金を受給できる20歳になるまで**医療的ケアに必要な医療消耗品費用の一部を助成する。**また、相談支援専門員、障害福祉サービス事業所等関係機関、行政で構成する子ども連絡会を医療的ケア児支援の協議の場として位置づけ**課題解決に向けた方策について継続的に協議し体制整備の検討を行っていく。**

●手取川・梯川の連動した河川氾濫の想定を問う

梯川の河川氾濫と同時に手取川の河川氾濫が起こる可能性もあり、連動した河川氾濫の被害想定を考えることが求められる。

答 吉光 年治 総務部長

平成27年の水防法の改正により国は手取川、梯川について100年に一度から1000年に一度の想定最大規模の降雨によるものに拡充した内容で見直しを行っており、平成29年4月に洪水浸水想定を公表している。さらに県が鍋谷川、八丁川について見直しを行っており、この完成を受けて市として**新たな洪水ハザードマップを来年度中に作成する。**



●いじめ虐待防止について来年度の新施策を問う

本年度9月まで「いじめ虐待等防止社会問題対策特別委員会」で調査研究が行われ特別委員会の委員長として提言させて頂いた責任もあり、今後の事業展開が気に掛かるところです。

来年度のいじめ虐待防止にはどのような新施策を展開するのか、中でもコミュニティスクールや学校運営協議会はどのように進んでいるのか

答 谷口 徹 教育長

次年度は校長協議会・学校だより・能美市教育委員会ホームページ等を利用し、いじめ防止啓発の情報を発信する。いじめ・虐待・不登校の解決の方策については保育園と小学校の連携推進を次年度以降検討する。学校運営協議会は、学校の活性化、特色ある学校づくりの一助としながら、一方で保護者、地域の学校への理解を進めるという視点で教育委員会と各小学校で積極的に推進している。**次年度は学校運営協議会の推進体制の更なる構築と地域教育力の向上、家庭教育力の向上などの校外環境について学校と連携し地域や家庭が担うべき教育について考え、学校と地域が一体となり迅速かつ組織的な対応ができるコミュニティスクールを目指していく。**地域の目、地域の力をかりること*でいじめ虐待防止の一助になると考える。*



ご意見・ご相談等がございましたら下記まで☆

連絡先記載のないご意見は返信が出来ません、ご返答希望の方は連絡先をお忘れないように願います。

能美市議会議員 田中 策次郎

〒923-1124 石川県能美市三道山町字 16-2
TEL 0761-58-5037 FAX 0761-58-5209
Mail kizuna@3926jp.net http://3926jp.net



日頃の活動もご覧ください